



2017年 東広島大学開講



開催時間/各講座10:00~11:30

受講料/19,440円(全12回@1,620円) *ちゅーピーカルチャーセンターの
 会員以外は入会金2,160円が必要

定員/20人(最少催行人数10人)先着順

*1講座からでも受講できます。(受講料:2,160円)但し、全12回の受講者を優先します。

*講座が開校されない場合は返金いたします。

1/21 (土) 生涯学習社会における アクティブラーニングの可能性

広島大学名誉教授

有本 章

教育社会学、高等教育論、
生涯学習論、科学社会学



知識社会の到来は、過去・現在・未来の連続性を希薄化し、不確実性を深める半面、生涯学習社会の様相を強めずにおきません。平均寿命の伸びが中高年のライフサイクルの価値を高める今日、中高年のより価値ある人生を創造するべく生涯学習とアクティブラーニングの接続のあり方が問われます。

2/18 (土) 家畜の解剖

広島大学名誉教授

岡本 敏一

畜産学・家畜生体機構学・解剖生理学



馬、牛などの家畜を解剖するには、解剖手順があります。「保定」から始まり、「と殺」、「剥皮」、「開腹」、「臓器摘出」となります。この解剖手順を、これら動物の特性や構造を、組織を含めて説明します。さらに、草食獣を中心にいろいろな動物の消化管の構成にも触れます。

3/11 (土) これからの エネルギーを考える

広島大学名誉教授

藤井 博信

物性物理学、水素エネルギー、
エネルギー科学



化石燃料の使用に伴って起こる地球温暖化問題が解決すべき課題になっています。ここでは、人類の使用してきたエネルギーの歴史を振り返り、その結果起こった地球温暖化問題を紐解いた後、今後エネルギーはどうあるべきかを考えます。

4/8 (土) 憲法とは?17世紀 イギリスの憲法論議

広島大学名誉教授

友田 卓爾

西洋史学



憲法への関心が高まっています。しかし、大切なことは分かっているにもかかわらず、身近な論議ではありません。憲法はいつ誕生し、どのような役割を持っているのか。世界初の憲法草案ともいわれる『人民協約(An Agreement of the People)』をとりあげ、(1)それが作成された歴史的経緯、(2)その基本原理である契約と人権の思想、(3)それをめぐる論議と継承、についてみていきます。

5/13 (土) 身近な免疫学

広島大学名誉教授

松田 治男

免疫学、ウイルス学、抗体工学



ヒトをはじめとする高等動物は精緻な免疫能力を持ち、身体に侵入する様々な病原体などを排除しようとします。これは、身体の恒常性(ホメオスタシス)を保とうとする生理機能として備わっているものなのです。ここでは、免疫の基礎について解説するとともに、身近な例を挙げながら理解を深めたいと思います。

6/10 (土) 建築家丹下健三と ヒロシマ

広島大学名誉教授

杉本 俊多

近代建築史、建築デザイン理論、都市史



旧制広島高校に学び、広島平和記念公園の設計で気鋭の建築家としてデビュー。世界的建築家へのぼりつめた丹下健三。彼は何を考え、何を伝えようとしたのか?ヒロシマに残したモダニズムの建築・都市デザインの方法を見直し、解説します。

7/8 (土) 迫られる未来への選択 「遺伝子組換え食品」

大阪大学名誉教授

室岡 義勝

バイオテクノロジー、
発酵工学、食品科学、遺伝子工学、生命科学



あなたも食べています遺伝子組換え食品。遺伝子組換え食品は表示が義務づけられています。しかし加工食品の多くは表示する必要がありません。それらは安全でしょうか?現在の地球人口は73億人。人口増加の勢いは止まりません。遺伝子組換えとゲノム編集による植物育種は、世界の食糧危機を回避する鍵となります。

8/19 (土) 生物活性物質の探求

広島大学名誉教授

深宮 齊彦

天然物有機化学、有機合成化学



生体に作用して生物反応を示す物質を、生物活性物質といいます。その探求から、新しい薬や香料、染料などが開発され、大きな恵みをもたらしました。その基礎となる生命が作り出す様々な有機化合物について、やさしく解説します。

9/9 (土) 物理学とは何だろう

広島大学名誉教授

宇田川 眞行

光、特に光散乱実験、低温物理学



「物理学」と聞くと、「難しい」または「分からない」という返答が一般の方から返ってきます。本講義ではガリレオの思考実験とケプラーの論理的推論から確立された近代科学の手法について解説します。特に実験が近代科学の手法の中心部分で、実験の楽しさにも触れてもらうことを考えています。持参物/5円玉か50円玉を4枚。

10/21 (土) 地球資源の近未来

広島大学名誉教授

福岡 正人

地球資源論、鉱床学、鉱物学



エネルギー、モノづくりに、石油・石炭・天然ガス、メタルなどの地球資源が欠かせません。ますます大量消費される、限られた地球資源。日本と世界の地球資源の、現状と近未来について考えます。

11/11 (土) 国際協力の過去・ 現在・未来

広島大学名誉教授

池田 秀雄

生物教育、教育国際協力、国際理解



開発途上国への支援の役割や期待は、ますます大きくなっています。国際協力のあり方について、国民の中にさまざまな意見があり、今、わが国は、先進国として開発途上国を支援する立場にあります。一足飛びに支援する国になったわけではありません。日本の発展の歴史を概観し、国際協力の現状と問題点を議論し、今後のあり方を考えます。

12/9 (土) グローバル化と英語教育、 そして子どもたち

広島大学名誉教授

三浦 省五

英語教育学



グローバル化に備え、「英語が使える日本人」育成計画が出されて10年以上が経過。学校教育において、外国語の1つである英語はどのように扱われているか。「英語が使える日本人」とは、どのような人物像か。学校教育において、どのように「英語が使える日本人」を育てようとしているか。その展望はいかなるものかを考えてみます。

会場/ちゃーピーカルチャーセンター-西条教室

◆お申し込み・お問い合わせは、お電話・FAX・Eメール・西条教室まで! (土日祝を除く、9:30~18:30)

西条岡町10-26・多治見ビル info@hhcc.jp (メールは24時間受付)

☎082-422-0020 FAX082-422-0022

